

# いながわ 特派員報告



花城 直子



鈴木 タ子

# 「自治会活動」をのぞいてみよう!

▼問合せ 参画協働課 ☎7668783



近所との交流が減りつつあるといわれているこの時代、みなさんご近所さんの顔を知っていますか？

「自治会って何してるの?」「自治会はどこも同じなの?」と思っている人や「自治会には未加入」という人もおられるかもしれません。

今回は数ある中から「島自治会」と「白金自治会」に、それぞれの活動について取材してきました!

## 猪名川町の自治会事情

町内には49もの自治会が存在し、現在の加入率は約77%、阪神間の市町の中では、最も高い加入率となっています。

各自治会では、地域の交流を深めるための事業や子どもたちの見守り・防犯・防災活動など、それぞれの地域性を活かしながら、人と人の「つながり」を大切に、みんなで協力して取り組んでいます。

実際にどんなことをしているのか自治会長にお話を聞きました。



## いざというときに助け合える自治会に

### 白金自治会(白金小学校区)



▲白金自治会長 大西 俊雄さん

白金自治会は25年前に発足し、現在90%以上の約1,970世帯が加入する、大規模な自治会です。全113班で構成されており、若い世帯も多いですが、発足時からお住いの方々も多く、みんなで助け合って暮らしています。自治会では、会員のみなさんへのリアルタイムな情報発信を目指しており、実際に役員・班長・住民の皆さんの協力により、比較的スムーズな連携が取れていると感じます。その1つが自治会の情報誌「パステル通信」で、毎月、白金にお住いの全世帯に配布しています。「配布物」は、ご近所さんと顔見知りになるためのきっかけになると思うので、犯罪や災害が起こったとき

に、いざというときに役立つば…との思いで、班長さんに配布をお願いしています。また、会員からの要望なども班長を通じて自治会役員へつないでもらいますし、内容によっては町への要望としてあげることもあります。また、異世代間交流事業として毎週水曜日に白金小学校の教室をお借りし「白金パステルひろば」を開催しており、自治会が募ったボランティアスタッフが小学校区内の子どもたちと宿題や遊びを通して交流しています。今年度は約90人の子どもたちの登録があり、スタッフは刺激を受けながら、楽しく活動しています。「自治会役員は大変…」との声も耳にしますが、私たちは、忙しい毎日を送っている人も高齢者も、みんなが安心して活動できる自治会を目指しています。



## みんなで地域を盛り上げる 島自治会(大島小学校区)



▲島自治会長 植村 好美さん

島自治会は、自然豊かでのどかな地域です。近所を散歩している人はみんな顔見知り、気軽に声をかけあえる間柄。約25年前、新しい住宅団地ができましたが、越してきた人たちも含めて、ほとんどの世帯が自治会に加入しています。人口280人、91世帯の小さな自治会ですが、町外から越してきた人と、昔からここで暮らしている人が協力し合って生活しています。自治会には青年団、消防団、老人会なども含まれており、みんなの力で盛り上げています。毎年10月には、住民たちのコミュニケーションの1つとして、「秋まつり」を行っており、地域外の方にも参加いただける機会となっています。また去年は、災害時などに自力で避難することが難しい人たちを支援するための「地域支援団体」を設立しました。現在、自治会内の約30%は65歳以上で、高齢化が課題となっていますので、地域の人々を自分たちで助け合う「共助に強い地域づくり」を目指していきます。自治会活動は、顔と顔を つなぐお付き合いができ、親睦や信頼が培われています。高齢の人では大変なことは若い人の力を借り、働き盛りで忙しい若い人の代わりに高齢者ができることはカバーするので、子どもたちも、小さな時から地域活動に参加しているのを、みんなで助け合うことを学んでいく。そんなふうに、みんなで協力して地域を盛り上げていきたいですね。

隣近所との交流が薄くなってきているといわれる今の時代にこそ、自治会は「人と人をつなぐ」という大きな役割を担っています。お互いの顔が見える人間関係をつくり、交流を深め、信頼関係を育むことで、穏やかな日常を過ごせるだけでなく、災害時など「もしも!」の時に素早く助け合えることにもつながり、結果、多くの命を守ることに繋がります。そのためにも地域のお祭りや老人会、子ども会などを通じて、日

## 自治会は「人と人をつなぐ」大切な役割



▲自治会長 仲間 享三さん

各自治会には、それぞれの特徴があり、活かし、いきいきと活動しています。しかし、実際には、「自治会離れ」も起こっています。「仕事などで忙しく活動に参加できない」とか、「高齢になり役員ができない」とか、理由は様々です。それでも自治会がなくなるとするのは、自分たちの住む地域をより良くしたいの思いから、みんなで考え、力を出し合い、支えあうことが大切だと、多くの人が感じているからです。

この頃は、よその自治会の良いところを真似て、役員の仕事や行事を効率よく見直しているケースも多くあると聞いています。あまり難しく考えて敬遠せず、楽しみながら自治会活動に参加してほしいですね。



### 〈編集後記〉

自治会って、「役が回ってきたら大変だな～」と思っていましたが、それ以上に人との関わりから、大切な助け合いが生まれるんですね! 地域のみなさんとの顔と顔をつき合せたお付き合いもいいものですね。各地域で行われるイベントに参加して、新たな「つながり」を作ってみませんか?



### 木を使った工作に挑戦!

◀ 7月7日、環境交流館でNPO法人いながわメダカコムズによる「わんぱく彩色木工塾」が開催されました。当日は、13人の子どもたちが棚や小さな家づくりなどの工作に挑戦。参加した子どもたちは、「とても面白かった!夏休みの宿題で挑戦したいな〜」などと、楽しんだ様子でした。

### みんなで力を合わせて

▼ 6月22日、イナホールで障がいのある人や地域の人たちが一緒になって楽しむ「ふれあい運動会」が開催されました。

当日は、大玉転がしや玉入れなどの競技が行われ、会場は大いに盛り上がりました。



### 静思館へようこそ!



▲川西猪名川ロータリークラブより同クラブの創立40周年を記念して、静思館案内看板を寄贈いただきました。

いただいた看板は、今後静思館を広く町内外の人に観覧・利用していただくために役立てます。

### 作品を通しての国際交流



▲7月18日、図書館ロビーで猪名川町および姉妹都市のオーストラリア・バララット市の障がい児・者による作品展「エイブルアート(町国際交流協会主催・8月1日まで)」が始まりました。両市町の人たちの作品が20作品ずつ展示され、今後は海を渡りバララット市でも同様に開催されます。

### 現地の発展のために!



▲今年の7月から2年間、青年海外協力隊としてケニア共和国のルアンダ・サブカウンティ農業事務所へ派遣される西山大貴さんが、出発に先立ち町長を訪問しました。

西山さんは、「商社での仕事と、趣味の農業で培った知識・経験を最大限に活かし、現地の人のために頑張りたいです」と抱負を語り、現地での活躍を誓ってくれました。

### 願いごと叶うといいな



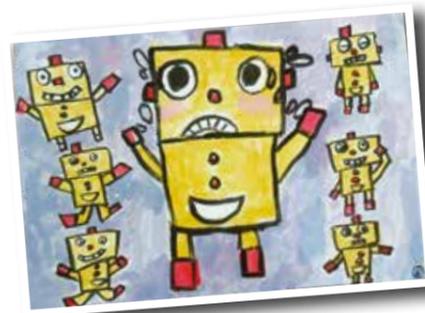
### 交通ルールを守ろう!



▲7月12日、町と川西警察署、地域のボランティア団体などが協力し、イオンモール猪名川および周辺の道路で交通安全の街頭啓発を行いました。この日は、キッズ交通保安官の子どもたちも活動に参加し、買い物に訪れた人たちに「交通事故に注意しましょう」と、元気よく呼びかけました。

### 手づくり紙芝居見に来てください!

▶ 7月13日、第29回箕面手づくり紙芝居コンクールの表彰式が行われました。応募総数93作品の中から、ジュニアの部で五家心音さん(白金小・4年・写真左)の「ロボくんのあたらしいかぞく」が箕面紙芝居まつり主催者賞、泉舞和さん(松尾台小・5年・写真右)「すてきなプレゼント」が入選しました。一般の部では高橋恵美代さん(伏見台・写真中央)の「えいたくんとトノサマバツタ」が入選を果たしました。個性あふれるオリジナル紙芝居は、昨年度の公民館講座で制作したものです。9月28日より図書館ロビーで展示しますので、ぜひご覧ください。



# ふおとにゅ〜す

◀ 6月26日、猪名川幼稚園で、いなぼう広場「年少さんと一緒に七夕制作をしよう!」を行いました。子どもたちは、「自転車に乗れるようになりたい!」、「戦隊ヒーローになりたい!」など、それぞれ一生懸命短冊に願いごとを書いて、みんなで笹の葉に飾りつけました。

### 約1万6千株のあじさいを堪能!



▲7月7日、大野アルプスランドで「第24回あじさいまつり」が開催されました。

当日は晴天に恵まれ、約1,300人の来場者は、見ごろを迎えたあじさいのほか、ステージイベントや模擬店などを楽しんでいました。